

平成30年度
法人本部事業報告書

- 平成30年度は理事会開催は2回、評議員会開催は2回、会議はすべて成立、議案は議決されている。
- 8月7日、秋田市監査指導室による秋田市指導監査が実施された。監査結果として指摘事項はなかった。
- 理事長は、週1、2回のペースで起案書の決裁等を、執行理事は、毎週土曜日午後保育所へ出向き、諸届、規程改正、会議提案事項等についての協議、その他理事長決裁書類の事前チェック、業務上の助言を行った。
- 諸規程の改正
 - ・定款細則の改正
平成30年度秋田市指導監査において助言を受けた、理事会議長の選任についての条文改正と業務執行理事の職務内容についての条文を追加した。
 - ・理事会運営規程の改正
平成30年度秋田市指導監査において助言を受けた、理事会開催回数について条文を改正した。
 - ・保育施設管理・運営規程の改正
平成30年度秋田市指導監査において助言を受けた、条文通知番号について条文を改正した。
 - ・就業規則の改正
平成30年度秋田市指導監査において助言を受けた、個人情報保護の規定内容について条文を改正した。
 - ・臨時職員就業規則の改正
平成30年度秋田市指導監査において助言を受けた、個人情報保護の規定内容について条文を改正した。
- 苦情解決第三者委員会について
 - ・令和元年5月14日平成30年度苦情受付処理状況及び事故報告会を実施した。委員3名(鮎川義孝氏、伊藤たか子氏、柴田静寛氏)、理事長、所長、主任保育士が出席した。
 - ・苦情受付はなかったが、保育事故件数(子どものけが等)の集計、内容の分析方法を変えることによってもっと見えてくるものがあるのではないかと、との意見があり検討していくこととした。
- 法人経営発展計画検討会について
 - 平成30年11月9日、第1回法人経営発展計画検討会を開催した。三浦業務執行理事、米谷監事、所長、主任保育士が出席した。
 - 協和会発展計画策定にあたって基本的な考え方、現状分析、はねかわ保育所の現状及び将来像、施設の複合化等について話し合いがなされた。
 - 役員研修会の資料として、検討会の資料を提出することを委員間で確認した。
- 役員研修会
 - 平成31年3月14日全理事、監事が出席して開催された。
 - 研修内容は、検討委員会から、協和会将来構想策定にあたっての基本的な考え方、「現状認識」「協和会の特殊性」「福祉の原点」「福祉性と事業性」を今後法人の将来構想を具体化していく過程で貫き通すキーワードとし法人の将来イメージが提起された。また当構想に関連する経営環境、諸条件は想像以上に厳しい状況であるという旨の認識が示され、役員はその提言に賛同し、今後も検討を重ねていくことを確認した。
- 法人事業計画については、平成31年3月14日第2回理事会において平成30年度「法人経営発展計画(仮称)の策定」を、平成31年度は「新規事業及び法人発展計画の具体化に向けた準備」とし、より具体的に示すこととした。
- 平成30年度秋田県社会福祉大会において、大友昭男理事(評議員、理事として25年10か月)大友和憲評議員(評議員、監事として25年11か月)が社会福祉功労により秋田県社会福祉協議会会長表彰を受賞した。
- 休日保育について秋田市への問い合わせや実施園への訪問、また広域入所受け入れについて関係機関への訪問を実施した。